

一般質問

9 名が登壇 市政を問う

*この一般質問は 6 月 14 日に行われたものです。



議会の様子は「YouTube」で
配信されています。

一般質問

- ・新築された浜岡中学校の利活用について
- ・環境に配慮した公用車の配置について



川口知幸

問

現在の浜岡中学校は、他市町にない秀逸な施設であると聞いている。優れた教育環境がどのように利活用されているのか。また、その開放状況を伺う

答

一般市民へは、体育館・柔剣道場・卓球場を開放しています。他の施設は一般的に開放していませんが、地域の要望により、校内のギャラリーに作品を展示したり、朗読劇のために施設を使用しています。また、シニアスクールの活動場所として会議室や音楽室を使用しています。

問

施設を利用したい人への情報発信はどのような方法か
市内の小中学校体育施設の一般利用の方法については、利用方法を市のホームページに掲載しています。

問

ICT教育の取組状況とその成果について伺う
市内小学校から中学校全ての子どもたちがクロームブックを使い、ICTの活用頻度は全国的にも高い状況です。多様

な情報などへ迅速にアクセスでき、学習の効率化が図られています。全国の学校と協働学習が促進され、デジタルスキルや情報を適切に活用する能力の向上などの成果が見られます。

問

御前崎中学校との交流事業とその頻度について伺う

答

部活動での合同練習や試合を定期的に行う交流をしています。

問

市が保有する公用車を環境に配慮した電気自動車へ転換することについて、どのように考えているか

答

本市では、消防・病院も含め145台の公用車を保有しています。電気自動車とプラグインハイブリッド車を各1台導入しています。充電設備の必要性や航続距離が短いための全国的に転換が進んでいない状況です。今後、公用車の更新に合わせ、環境に配慮した車輛の導入を検討します。

一般質問

- ・市制20周年について
- ・御前崎特産品について



二俣秀明

問

市制施行20周年事業は市民とまち全体を巻き込む事業になると考えますが、市長の思いを伺う

答

本年度は市制20周年の節目の年を迎え、様々なイベントが催されます。キャッチフレーズとして「20周年の想い、未来へ受け継ぐ御前崎」を掲げ、今後も歩み続けたいと思います。本年は、御前崎市で干し芋を創出してから200年の節目となるため、「干し芋プロジェクト」を立ち上げました。20周年を契機に、官民一体としたチャレンジを進めます。

問

御前崎市でも芋から麺類や焼酎など生産販売しましたが続きませんでした。マーケティング調査を行い、材料の生産・加工・販売と持続可能な特産品の商品開発についての考えを伺う

答

持続可能性は大事なことで、立ち上げた後に停滞してしまふ事業には必ず理由があり、何らかの問題点が発生しているはずで、そこを抑えることが必

要だと考えます。今回の「干し芋プロジェクト」の特徴は、多くの方の参入により問題解決にも強い母体ができていると考えます。

問

特産品創出のスケジュールに産業祭での実証実験とあるが、対応ができていくか伺う

答

今年の1月、2月に作られる干し芋をすでに確保し、産業祭でのお披露目を目指しています。また、このプロジェクトにご参加いただいた皆さんでアイデアを出して商品開発につなげていきたいと考えております。

問

ふるさと納税の返礼品として、加工品ならば長期間の対応品となりうると思いますが、その考えはあるか

答

本市におけるふるさと納税の返礼品は、季節限定商品を除き181品あり、そのうち市内で生産された農畜産物などを加工した返礼品は68品です。長期保存可能な加工品であれば、年間を通して出品することが可能です。